



総合ステージ華いっぱい 市民芸術祭 鍛えた芸の数々



▲吹小金管バンドも見事なアンサンブルを聞かせました



▲ギター演奏と生け花の共演



▲日本詩吟学院協会重宝吟詠会の楽しい舞い

初の試みとして注目を集めたのが紋別ギタークラブと紋別市華道連盟による競演。ギタークラブが日本の唱歌やポップスナンバーを演奏するなか、華道連盟の会員らが次々とステージに上がり即興で花を生けていきました。カラフルで斬新な造形の生け花とギターの優しい音色がマッチングして、文字通り、ステージは華やかさに包まれました。

紋別剣道連盟居合道部会による演武も初登場でした。居合道武段の腕前をもつ市内の主婦、高田由喜子さん・石井

11月6日、市民会館で開催された「総合ステージ」は、吹奏楽、舞踊、ヨサコイ、詩吟、バレエ、一輪車など20のプログラムが披露されました。

市民会館で開催された「総合ステージ」は、吹奏楽、舞踊、ヨサコイ、詩吟、バレエ、一輪車など20のプログラムが披露されました。

芸術の秋を迎え、11月は第51回紋別市民芸術祭の催しが、市民会館や博物館をはじめ、滑河市民センター、上滑河市民センターなどで相次いで開催されました。

各会場とも、市民の絵画、手芸、書道などの創作品が展示されたほか、芸能発表も行われ大いに盛り上がりました。

大山周辺の野山や国道を走ったり、ウォーキングを楽しむユニークな大会「第1回紋別クロスカントリーマラソン&ウォーキング」が11月6日、開催されました。市民有志が実行委員会（山川善一会長）を組織して企画したもので、紋別市民をはじめ道内のランニングやウォーキングの

大山駆け抜けるクロカンマラソン！ ウォーキング派も自然満喫

愛好家など約140人が参加し、秋の一日、爽やかな汗を流しました。

マラソンは17キロ、ウォーキングは10キロのコース。タイムや順位を競うマラソンは、急坂を登ったり、下ったりと過酷なレースでしたが、男子では美幌町から参加した自衛官・熊谷忍さん（32）が



▲フラメンコの躍動的な動き



▲居合は緊張感あふれる演武を披露

裕美子さんの2人が、「袈裟斬り」など12本の技を披露。緊張感に溢れる動きを、会場の市民も食い入るように見つめていました。

このほか、フラメンコ、パトーン、バンド演奏、吟舞など多彩な構成で、会場は終始、熱気に包まれていました。



▲大山スキー場を出発する選手達



▲紋別自動車学校は今年も市内学校・教育施設に交通安全課を振りしました

「交通安全ルール守ります」 交通安全 明るい紋別 市民の集い

幼児から高齢者まで紋別市民が交通安全を願う、第18回

「交通安全明るい紋別」市民の集いが11月9日、文化会館

54分55秒というハイペースで優勝。女子では旭川市から参加した会社員・加藤由実さん(29)が1時間13分09秒で優勝しました。一方、タイムや順位にこだわらないウォーキ

ングは、大山の自然を満喫しながら、1時間前後で全員がゴール。終了後は、豚汁サーブिसや抽選会なども行われ、参加者が互いの健康を讃えあいました。

で開催されました。約2000人が参加し「事故にあわない・起こさない」と誓い合いました。

集いの目玉、交通安全宣言では、小学生から高齢者までの代表5人が、それぞれの立場から事故防止への決意を述べました。このうち元紋別小児童会長の麻畑遙さんは「歩行者と運転者がお互いの安全を考えて規則を守り、交通事故

故が起こらなくなることを夢見ています」と明るく元気い

っぱいに宣言しました。

故郷支援を誓い合う

札幌紋別会に110人

札幌市在住の紋別市ゆかりの人たちでつくる札幌紋別会(且井和幸会長)の総会が11月4日、センチュリーロイヤルホテルで行われました。110人の会員が参加。紋別市

からは宮川市長や幡野助役、佐藤留次市議会議長、畑中正義観光協会会長、阿部滋漁業協同組合長、澤村弘志商工会議所副会長などが出席しました。且井会長は「紋別に縁あるこの会のさらなる発展を期する」と呼びかけました。



▲テーブルを囲んで紋別産物に花が咲きました

1年に1度の再会を楽しみにして会場を訪れる人も多く、紋別名産のズワイガニなどに舌づつみを打ちながら、いなか談義に会話が弾み、紋別産物が当たる抽選会も盛り上がりしました。